

大和町を盛り上げるイベントを開発しよう!!

本単元で育成する資質・能力

知識及び技能, 情報活用能力, 言語能力, 主体性, 自己理解・他者理解

1 日 時 令和4年11月8日(火) 5校時 13:15~14:05

2 場 所 1年A組教室

3 学年・学級 1年生 36名(男子18名 女子18名)

4 単元設定の理由

(1) 単元観

本単元は、生徒の地元である大和町で暮らす人や働く人の願いを踏まえて構想した単元である。大和町は、平成25年に5つの小学校が統合し大和小学校が開校しており、人口の減少が進んでいる地域である。そこで、地域の産業を守り、町を活性化させたいという地域の方の願いを具現化するために探究的な学習として平成30年度より地域の企業と連携して取り組んでいる。今年度は「イベント開発」の単元を設定する。本単元を通して、自分自身の特徴を、内省的に捉えたり、周囲と関わることによって自己理解を深めたりすることで、地域と自己の将来について考えることが期待できる。

本単元は、本質的な問いを「大人になった時でも、大和町の産業を継続させるためには何ができるだろうか?」、単元を貫く問いを「大和町を盛り上げるイベントを開発するには、何をすればよいだろうか?」とし、地域について調べたり、実際に体験したりする活動を通して、大和中学校区で設定している資質・能力の育成を目指したものである。

(2) 生徒観

7月に、これまでの学校生活を振り返るようにし、育成を目指す資質・能力(知識及び技能以外)に関するアンケートを本学年の生徒に実施した。その結果は、次のとおりである(4がよく発揮できている, 1がまだ発揮できていない)。

	4	3	2	1	肯定的評価(%)
① 情報活用能力	5	19	8	0	75.0%
② 言語能力(伝える)	7	18	6	1	78.1%
③ 言語能力(聞く)	9	22	1	0	96.9%
④ 主体性	7	23	2	0	93.8%
⑤ 自己理解・他者理解	13	15	4	0	87.5%

①, ②の結果から、目的に応じて情報を収集し、整理・比較し、事実と意見を比較しながら聞き手に適切に伝えることができると強く感じている生徒が少ないといえる。また、③, ④から課題に対して、仲間と対話的に進んで取り組んでいる生徒が多いと捉えることができる。⑤から学級の中では自分の特徴を生かして自分らしさを発揮したり他者のよさを受けとめたりしていると感じている生徒がやや多いことがわかる。

7月に実施した自分自身に関するアンケートの結果は、次の通りである(4がよくあてはまる, 1がまったくあてはまらない)。

	4	3	2	1	肯定的評価(%)
① 自分にはよいところがあると思います。	7	19	4	2	81.3%

② 自分のよさが、まわりの人から認められていると思います。	5	17	8	2	68.8%
-------------------------------	---	----	---	---	-------

これらの結果から、自己肯定感が低い生徒が学級の5分の1程度、自己有用感が低い生徒が学級の3分の1程度いることがわかる。

(3) 指導観

生徒観で述べた課題を解決するために、本単元では、次のような手立てを取り入れる。単元の導入では、生徒が小学校で学習した地域の産業や特産物等を想起することで大和町の魅力を再認識し、地元の企業の方からイベント開発の依頼を受ける状況を設定することで、地元を盛り上げようという気持ちを醸成していく。

地元の観光農園である「果実の森公園」を会場に、果実の森公園の特長を生かしたイベント開発を進めるといふ共通認識のもと、最終的には有料のイベントを開催するためには、何をしなければならないか、そのためにはどのようにして情報を収集し、計画を立てて進めていくかといった課題の設定を繰り返し行うようにする。その課題を解決するために学級を小グループに分け、協働して取組を進めることができるようにする。また、生徒が必要であると考えた取組が実行できるように、協働して取組を進めている地域の方との連携を密にしておく。

これらの取組を通して、自分自身の特徴を捉えなおし、大和中学校区で設定している資質・能力の育成が図られるようにする。特に「情報活用能力」「言語能力（伝える）」については、自分たちで調べたことや考えたことをスライドにまとめ、地域の方々に発表すること等を通して育成できるようにする。また、仲間と協力して課題を解決していくことで、自己有用感を高め、「主体性」「自己理解・他者理解」の育成にも取り組みたい。

5 単元の目標

- 大和町の企業と協働して、イベント開発をする取組を通して、地域のよさや地域の方の思いを理解し、地域の活性化について考えるとともに、自らの生き方に生かすことができるようにする。

6 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・大和町の施設や企業において、地域の特産を活かしたり、住民のニーズに応えたりするために働く人々の思いや願いに気付いている。【知識及び技能】 ・イベント案を考えるために、収集した情報を的確に分類、整理している。【知識及び技能】 ・大和町の地域活性化と自分との関わりについての理解は、探究的に学習してきたことの成果であることに気付いている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題の解決に向けたスライドの作成に当たり、何をするのか、何のためにするのかを意識し、解決の見通しをもって計画を立てている。 ・目的に応じて様々な情報を収集したり、意図を考えながら聞いたりしながら複数の情報を比較・分類、整理することができる。【情報活用能力】【言語能力】 ・伝える相手や目的に応じて、自分の考えを事実と意見を区別してまとめ、適切な方法で表現している。【言語能力】 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題に対する自分の考えを持ち、周りの人と協力しながら、進んで行動している。 ・自分の長所や短所、他者のよさに気付き、集団の中で、自分らしさを発揮しようとしている。 ・地域との関わりの中で自分のできることを見付けようとする。

7 本時で育成しようとする資質・能力について

本校で育成しようとする資質・能力は、以下の5点である。

【知識及び技能】	①知識及び技能
----------	---------

【思考力、判断力、表現力等】	②情報活用能力	③言語能力
【学びに向かう力、人間性等】	④主体性	⑤自己理解・他者理解

この中から、本時において育成しようとする資質・能力との関わりについて、次の点に重点を置くものとする。

③言語能力

本校で育成を目指す言語能力（伝える）とは、「事実と意見を区別して伝えている」力である。

尺度	1	2	3 B	4 A
評価規準	事実と意見を区別しておらず、詳しい説明を付け加えて伝えている。	事実と意見を区別していないが、詳しい説明を付け加えて伝えている。	事実と意見を区別して伝えている。	話の中心的部分と付加的な部分、又は事実と意見を区別して伝えている。

8 指導と評価の計画（全 40 時間）本時 19/40

次	時	学習内容	生徒の思考の流れ	観点			◇評価規準 (評価方法)
				知	思	主	
一 イ ベ ン ト 開 発	1	情報の収集	<ul style="list-style-type: none"> ・大和町には色々な産業があるなあ。 ・先輩が考えた商品は美味しそうだなあ。 				<ul style="list-style-type: none"> ○ 【主体性】 ・地域の企業と協働して、地元を活性化させるイベント開発に進んで取り組もうとしている。(振り返りシート)
	2	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校で学んだことを振り返り、大和町の魅力を再認識する。 ・昨年度までの大和中学校の取組内容を知る。 課題の設定 <ul style="list-style-type: none"> ・地域の企業からイベント開発の依頼を受ける。 ・果実の森公園の様子を知る。 					
	3	情報の収集 <ul style="list-style-type: none"> ・イベント開発会社の方から、イベント開発に向けての講話を聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・イベントを作るためには、目的を決めることが大事なんだな。 ・イベントを行うために、色々な役割が必要なんだな。自分の得意を知るチャンスだね。 		○		
	4	整理・分析 <ul style="list-style-type: none"> ・イベント開発会社の話を受けて、イベント開発に必 	<ul style="list-style-type: none"> ・イベント開発をするに当たり、具体的にどんなことをしていくことが必要か 		○		<ul style="list-style-type: none"> ○ 【情報活用能力】 ・イベント開発会社の話の

	<p>要な要素についてまとめる。</p>	<p>な。</p>			<p>内容を，イベント開発に必要な要素についてまとめている。(ワークシート)</p>
5	<p>課題の設定・まとめ</p> <p>・イベント案を出すために何をすればよいか考える。</p>	<p>・夏休み中にイベント案を考えるために，した方がよいことは何かな。</p> <p>・会場の下見をしよう。</p> <p>・会場の下見をする際のポイントは何かな。</p>		○	<p>【主体性】</p> <p>・イベント案を考えるために何をすればよいか，進んで計画を立てようとしている。(ワークシート)</p>
6	<p>情報の収集</p> <p>・イベント会場である果実の森公園について調べる。</p> <p>・近隣で行われるイベントについて調べる。</p>	<p>・果実の森公園はどんなところかな。</p> <p>・夏休みに行くことができそうなイベントはあるかな。どんなことをしているのかな。</p>		○	<p>【情報活用能力】</p> <p>・果実の森公園や，近隣で行われるイベントについて調べ，開発イベントのイメージをもっている。(ワークシート)</p>
7	<p>整理・分析</p> <p>・下見のときに見てくるポイントを整理する。</p> <p>課題の設定・表現</p> <p>・果実の森公園での会場下見の確認をする。</p>	<p>・下見のときに，どんなことを見てこようかな。</p> <p>・園長さんに何をきいてこようかな。</p>		○	<p>【主体性】</p> <p>・果実の森公園での会場下見時に，どのような視点をもっていればよいか自分の考えをもっている。(行動観察，振り返りシート)</p>
夏季休業中	<p>情報の収集</p> <p>・イベント会場である果実の森公園の下見をする。</p> <p>整理・分析</p> <p>・会場の下見で得られた情報をまとめる。</p> <p>創造・表現</p> <p>・会場の下見をもとに，イベント案を考案する。</p>	<p>・芝生広場は会場として使いやすいそうだな。</p> <p>・こんな商品売っているんだな。</p> <p>・果実の森公園の特長を生かせるイベントにしよう。</p>			
8～13	<p>創造・表現</p> <p>・学級内でイベント案についてプレゼンをし，地域の方にプレゼンをするイベント案の数を絞る。</p> <p>整理・分析</p>	<p>・どれも楽しそうだな。</p> <p>・果実の森公園の特長を生かしているものはどれかな。</p> <p>・地域の方にイベント案のよさが伝わるプレゼンにし</p>		○	<p>【言語能力】</p> <p>・グループ内で，相手の意図を考えながら話を聞き，自分の考えを事実と意見とを区別して伝えている。</p>

		・地域の方へプレゼンするための資料をグループごとに作成する。	よう。				(プレゼン資料)
	14 15	<p>表現</p> <p>・地域の方へ、開発イベント案のプレゼンをする。</p> <p>振り返り</p> <p>・これまでの取組の振り返りをする。</p>	<p>・イベント案の魅力が伝わったかな。</p> <p>・開発イベントに選ばれるといいな。</p> <p>・この力はあの場面で発揮したな。</p>			○	<p>【言語能力】</p> <p>・地域の方へ、自分の考えが明確になるように、事実と意見を区別して伝えている。(プレゼン、振り返りシート)</p>
二 新 た な ミ ッ シ ョ ン	16 ～ 18	<p>課題の設定</p> <p>・地域の方から開発を進めるイベントの結果を聞く。</p> <p>・今後取り組むミッションを知る。</p> <p>情報の収集・整理・分析</p> <p>・ミッションに対する最善解を考え、プレゼンを作成する。</p>	<p>・開発を進めるイベントが決まったよ。</p> <p>・新たにイベントを成功させるためのミッションをクリアするぞ。</p>			○	<p>【主体性】</p> <p>・それぞれのミッションの解決に向け、グループのメンバーと協力して取り組んでいる。</p> <p>【言語能力】</p> <p>・相手の意図を考えながら話を聞き、自分の考えを事実と意見とを区別して伝えている。(プレゼン資料)</p>
	19	<p>表現</p> <p>・地域の方へミッションに対する最善解のプレゼンをする。</p>	・開発イベントの魅力を地域の方に伝えよう。			○	<p>【言語能力】</p> <p>・事実とグループで考えた意見とを区別して、ミッションに対する最善解を伝えている。(プレゼン発表)</p>
三 イ ベ ン ト の	20	<p>課題の設定</p> <p>・イベントを開催するためにこれからすることは何かを考える。</p>	<p>・イベントをするには、何をしないとイケないかな。</p> <p>・サブイベントを考えたいな。</p> <p>・イベントの運営、宣伝、接客の仕方などを考えないとイケないな。</p>			○	<p>【主体性】</p> <p>・商品を販売するために何をすればよいか、進んで計画を立てようとしている。 (ワークシート)</p>

<p>具 体 化 に 向 け て</p>	<p>21 ～ 25</p>	<p>情報の収集・創造・表現 【イベントの企画書】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企画書の基礎について講師より学ぶ。 ・企画書を考え、講師へプレゼンをする準備をする。 ・講師へ企画書のプレゼンをし、アドバイスを受け、改善をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・メインイベントだけでなく、全体のことを考えよう。 ・ゴールを明確にすることが必要なんだな。 	<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>	<p>○ 【主体性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企画書の作成に向け、グループのメンバーと協力して取り組んでいる。 <p>○ 【言語能力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手の意図を考えながら話を聞き、自分の考えを事実と意見とを区別して伝えている。(プレゼン資料) <p>○ 【言語能力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手に共感してもらえようように自分の考えを伝えることができている。(企画書のプレゼン発表)
	<p>26 ～ 31</p>	<p>情報の収集・創造・表現 【ポスター制作】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デザインの基礎について講師より学ぶ。 ・デザイン案を考え、講師へプレゼンをする準備をする。 ・講師へデザイン案のプレゼンをし、アドバイスを受け、改善をする。 <p>【宣伝用のラジオ配信】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ラジオ配信について講師から学ぶ。 ・ラジオ原稿を考え、講師へプレゼンをする準備をする。 ・講師へラジオ原稿のプレゼンをし、アドバイスを受け、収録をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ポスター制作とラジオ配信とどちらを担当しようかな。 ・デザインは、線を太く、色を濃くした方がいいんだな。 ・美術で学んだことがここでも役に立つな。 <p>○</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベントの魅力が伝わるラジオにしよう。 ・短い時間の中に、必要な情報を入れるのは難しいな。絶対に伝えたいことは何かな。 	<p>○</p> <p>○</p>	<p>○ 【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美術科で学んだことを生かして、ポスターの作成をしている。(成果物) <p>○ 【自己理解・他者理解】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループの中で、自分の特徴を發揮しようとしている。(振り返りシート) <p>【言語能力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手の意図を考えながら話を聞き、自分の考えを事実と意見とを区別して伝えている。(プレゼン資料)
	<p>32 ～ 37</p>	<p>情報の収集・創造 【会場のデザイン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看板、POP、装飾品等の作成をする。 <p>【接客の仕方】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・お客さんにとってわかりやすい看板やPOPをつくらう。 ・お店にあるPOPを参考にしよう。 ・お客さんに失礼のないよ 	<p>○</p>	<p>○ 【言語能力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お客に、事実と意見を区別して自分の考えを伝えられるデザインにしている。(成果物)

		・講師の方から、接客の仕方について学ぶ。	うにしたいな。 ・手際よくイベントを運営したいな。			○	【自己理解・他者理解】 ・グループの中で、自分の特徴を發揮しようとしている。(振り返りシート)
四		実行 ・果実の森公園でイベントを開催する。	・お客さんが笑顔になるといいな。 ・大和町が活気づくといいな。				
イベントの 実行・ まとめ	38	まとめ・創造・表現 ・これまでの取組をまとめ、地域の方や保護者へ報告をする。	・取組を支えてくださった方へ、これまでの取組の報告をして、感謝の気持ちを伝えよう。			○	【言語能力】 ・相手の意図を考えながら話を聞き、自分の考えを事実と意見とを区別して伝えている。(プレゼン資料)
	40	振り返り ・1年間の取組(学習内容、資質・能力)を振り返る。	・この1年間色々なことに取り組み、成長したな。 ・私はこれが苦手だと思っていたけど、思ったよりできたな。	○	○	○	【すべて】 ・一年間の取組から、育成を目指す資質・能力について振り返るとともに、次への新たな課題を設定する。(振り返りシート)

9 本時の展開

(1) 本時の目標

- 地域の方の願いを踏まえたイベントの企画を、事実と意見を区別しながらプレゼンすることができる。

(2) 観点別評価規準

- 地域の方の願いを踏まえたイベントの企画を、事実と意見を区別しながらプレゼンすることがしている。

【言語能力】

(3) 本時の学習展開

	学習活動	○指導上の留意点 ◆努力を要する生徒への指導の手立て	◇評価規準 (評価方法)
導入	1 前時までの内容を想起する。 ・前の時間までは、新たなミッションに対する回答のプレゼンを作成していました。	◆想起できない生徒は、前時までのワークシートを振り返るようにする。	
	2 学習課題を把握する。 ・今日は地域の方々に新たなミッションに対する回答のプレゼンをします。	<p>【最初のミッション】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・果実の森公園を舞台に、大和町が盛り上がるイベントの開発。 <p>【新たなミッション】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加型のアート作成の考案。 ・いちごを使わないサブイベントの考案。 ・撮影したくなる果実のパネルの考案。 など8つ 	
<p>本時のめあて：新たなミッションに対するプレゼンをし、自分たちの考えを適切に伝えよう。</p>			

展開1	<p>3 プレゼンの最終確認をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誰がどの内容をどのように伝えるか最終確認をしよう。 ・前回のプレゼンでは、誰に伝えるのかを考え、顔をあげることや声の大きさについての話があったね。 	<p>○地域の方に伝えるという相手意識をもった練習になるようにする。</p>	
展開2	<p>4 新たなミッションに対する回答のプレゼンをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループで考えたミッションに対する最善解を伝えよう。 <p>5 地域の方から、プレゼンに対するコメントを頂く。</p>	<p>○地域の方からのコメントを聞き、今後の取組に生かすことができるようにする。</p>	<p>◇事実とグループで考えた意見とを区別して、ミッションに対する最善解を伝えている。</p> <p>【言語能力】 (プレゼン発表)</p>
まとめ	<p>6 学習の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前回のプレゼンより、地域の方に伝えるという意識をもってプレゼンをすることができた。 ・地域の方から頂いたコメントをもとに、今後の取組を進めていこう。 	<p>○イベント開発に向けて、今の思いを振り返るようにする。</p> <p>○数人の振り返りを共有する。</p>	

(4) 板書計画

大型 TV

本時のめあて：新たなミッションに対するプレゼンをし、自分たちの考えを適切に伝えよう。

前時まで：新たなミッション
プレゼン作成

- ・誰に伝えるのか考える
- ・顔をあげる

新たなミッションに対するプレゼン